



THE SEASONS

お正月

「門松」



組立説明書



ペーパークラフト「門松」をダウンロードしていただきまして、ありがとうございます。シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「門松」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・3ページ

クラフト A4シート×2 パーツ総数 13

これは「門松」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折り目をつけるためのもの) サインペン ピンセット 接着剤 指先をきれいにしておくおしぼりなど。

注意していただくこと

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

切り方

組立てに必要なパーツの番号と各シートのパーツ番号を照らし合わせながら切り取ってください(パーツの名称と番号は、各シートに記されています)。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。極端に強くなぞると、紙に裂け目ができちゃうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工用ボンドをおすすめします。

小口や折り目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作上的きまり

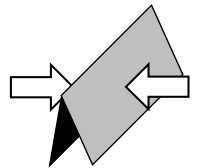
このペーパークラフトの工作方法は、全部で5種類。組立説明書とパーツシートには、各パーツごとに工作方法を示すマークが描かれてあります。下の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

パーツの記号と番号は、各シートに記されています。

工作方法の表記

————— (実線)

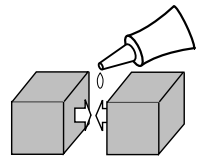
この部分は山折りにしてください。(組立説明書では、∧で記されています。)



●、▲ または ■

同じ色、同じマークがついている部品を接着します。

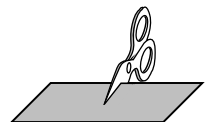
(組立説明書でも、同じマークで記されています。)



————— (太線)

このマークがついている部品には切り込みを入れてください。

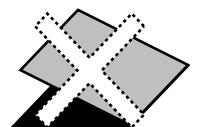
(組立説明書では、◀で記されています。)



×

このマークがついている部品は折り曲げないでください。

(組立説明書でも、同じマークで記されています。)



3 組立

各パーツを、組立図と工作方法を参考にしてお組み合わせてください。

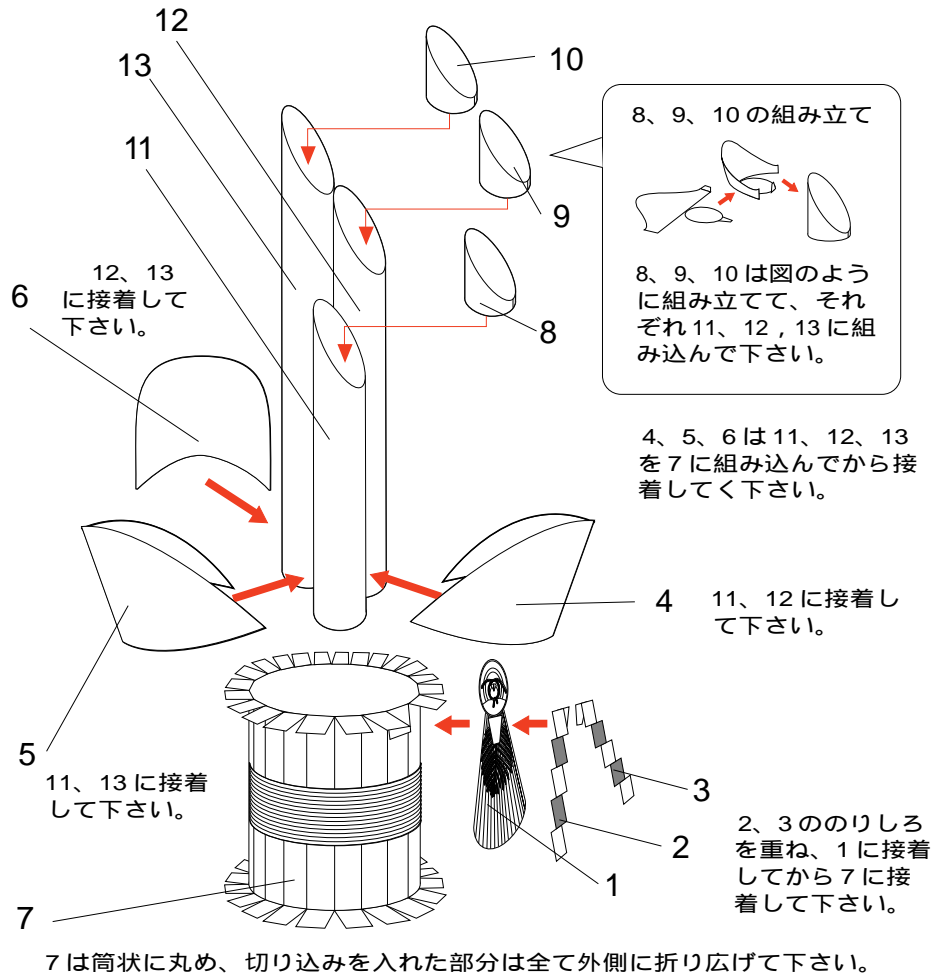
パーツリスト

シートNo.	パーツNo.	工作方法
A	1	
A	2	△
A	3	△
A	4	△
A	5	△
A	6	△
A	7	△ ◀ ▶ ✕
B	8	△ ■
B	9	△ ▲
B	10	△ ●
B	11	✕ ■
B	12	✕ ▲
B	13	✕ ●

組立図

各部品の取り付け位置などの参考にしてください。

11、12、13は丸めて束状に接着して7に差し込みます。
13ののりしろに接着剤を塗って7に接着して下さい。



『門松』について

門松は唐の時代の中国で、長寿を象徴する松を家の門に飾ったのが始まりとされています。日本では平安初期にはこの風習が始まり、室町時代には更に万年の長寿を意味する竹も添えられ、現在の門松の原型となったそうです。

4 完成

後方から見た図



真上から見た図

